

法寿苑だより 春

～夢・いやし・やすらぎ～

No.52 令和2年4月10日



新型コロナウイルス感染症の拡大が、私たちの生活全般、また介護福祉業界全体にも深刻な影響を及ぼしています。厚生労働省老健局は、社会福祉施設の対応を都道府県と市区町村に向けて要請し、感染拡大予防する為の具体的な措置についても通知されています。

私たち法寿苑の職員も、大切な利用者様の健康と安全を守る為、日々の業務の中で、感染症を始めとする病気や事故・怪我、災害やあらゆる非常事態に備え、取り組んでいます。

今回の委員会紹介は、大切な利用者様はもちろん、ご家族様や職員、施設全体をあらゆる危険から守っていくために活動している「危機管理委員会」を紹介します。



危機管理委員会

施設長を委員長として、法寿苑内の各部署(特養・医務室・デイサービス・支援センター・ヘルパーステーション)から委員を選出し、状況に応じて委員会を開催し、対応を検討しています。

危機管理委員会

防災

リスクマネジメント

感染症対策

褥瘡予防

身体拘束廃止

医療行為

【防災委員会】施設内の火災避難訓練を始め、津波避難場所としての役割がある施設として地域の自主防災とも連携し、避難訓練を行っています。非常食の備蓄管理なども担っています。

【リスクマネジメント委員会】施設内で起こる介護事故や事故に成り得る“ヒヤリ・ハット”を検証し、今後同じような事故を起こさないために検討しています。職種や立場が変わると見えてくる気付きに、新しい解決策や対応策が出てきます。

【身体拘束廃止委員会】身体拘束の廃止に向けて、身体拘束の弊害をしっかり認識し、どうすれば廃止できるかを十分に議論し、職員全体で問題意識を共有しています。

【感染症対策委員会】看護職員を中心に、インフルエンザやノロウイルスなど季節性の感染症疾患を始め、疥癬などの皮膚疾患も含めた、あらゆる感染症の施設内での発生・蔓延を防ぐために対応を検討しています。職員への徹底周知、研修を開催することで、感染症への知識を高め、確実な予防が図れるよう努めています。

【褥瘡予防委員会・医療行為】

体調変化や環境の変化に伴い、褥瘡が発生しそうな方や、できてしまった方の進行を予防する為、看護職員が中心となり、介護職員と連携しながらチームとして完治に向けて取り組んでいます。今後、喀痰吸引や経管栄養の注入など、医療行為が必要な方は、ますます増えてくると考えられます。施設の中で連携しながら対応できるよう取り組んでいきます。

送迎時の交通安全に関することや、車両事故の対応などの担当者も危機管理委員です。



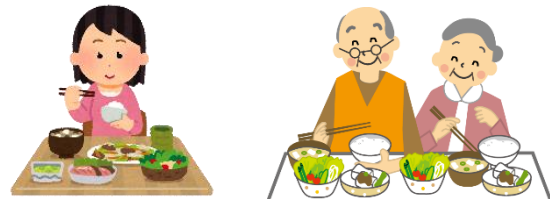


免疫力を上げる食べ物



世界中で新型コロナウイルスが大きな問題となっています。ニュースを見ても、特に重症化するのには「免疫力が下がっている人」、逆に健康で免疫力がしっかりあれば感染しても早期に回復しているようです。免疫力を高めるには次の3つが重要です。

- * 腸内環境を整える。
- * 体温を高く保つ。
- * 免疫細胞の材料を補給する。



この条件を満たす食べ物やサプリによって健康を保ち、ウイルスに打ち勝つ身体を作りましょう。

《腸内環境を整える》

乳酸菌飲料、食物繊維も一緒にとれる乳酸菌青汁など。

《身体を助ける発酵食品》

納豆・キムチ・味噌・ヨーグルトなど。腸内環境だけでなく身体を整えるのにも有効です。

《免疫の材料となるタンパク質》

肉・魚・卵・大豆など。筋肉や臓器の働きも活性化するだけでなく、体温を上げる作用、免疫の働きも上がると言われています。

《体温を上げる香辛料》

生姜など。血行を良くして体温を上げることで免疫細胞が全身くまなく回れるようになり、免疫力の向上にも役立ちます。

免疫力を上げればコロナウイルスも防げるというわけではありませんが、免疫力を高めて病気に対する対応力を高める準備をしていれば、どんな病気であっても感染を予防したり、重症化を防ぐためには有効であるはず。そこで、免疫力をアップするお手軽な一品をご紹介します。

☆豚の磯焼きねぎ風味

- ①豚ロースに玉ねぎをすり下ろして漬け込みます。あさつきは大きめに切っておきます。
- ②フライパンに油を熱して、①の豚ロースを玉ねぎのすりおろしごと焼きます。
- ③表面を焼いたら、海苔の佃煮をあえます。
- ④肉を切り盛り付けて、上からあさつきをたっぷり散らし、塩・こしょうで味を調えます。



材料 (4人分)

- 豚ロース・・・8枚
- 玉ねぎ・・・半分
- 海苔の佃煮・・・大さじ2
- 塩、こしょう・・・少々
- あさつき・・・半束
- 油・・・適宜

カレンダー展覧会



デイサービスでは毎月次の月のカレンダーを作成しています。季節にちなんだ図柄を立体的になるよう工夫し、毎回好評をいただいております。材料を折ったり貼ったりしながらご利用者同士の会話も弾み、世界で1枚だけの手作りカレンダーをみなさん満足して持ち帰られています。一年間で作ったカレンダーをどうぞご覧ください。

ケーキバイキング

マロニエ洋菓子店のケーキ♡



どれになさいますか〜

種類も豊富♪

じゃんけん
ポン！！



3月12日にテイルームにて《喫茶店 法寿》と銘打ってケーキバイキングを行いました。職員がウエイトレスの衣装を着てケーキを配り、7種類のケーキの中から好きなケーキをじゃんけんで勝った人から選んでもらいました。「どのケーキもおいそうで迷うわ。」と言われながら、それぞれ好みのケーキを選び、オシャレなコーヒーカップで飲み物を召し上がられました。「喫茶店はなかなか行けんかったからうれしい。」「またやってほしい。」との声が聞かれ、いつもと違う雰囲気を楽しまれていました。



いただきます♪

コーヒーも
おいしい！





初釜



1月17日に恒例の初釜が開催されました。

着物を着た職員が給仕し、美味しいお菓子とお抹茶を皆様楽しませていました。

また、ボランティアの方々の大正琴の演奏もあり、美しい音色を堪能しました。



ケーキバイキング



2月25日、3階地域交流ルームにてケーキバイキングを開催しました。

たくさんの種類のケーキの中から好みの物を選び、好きな飲み物と共に楽しい時間を過ごしました。



今年度も職員一同、ご入居者の方々に楽しんでいただけるような企画をたくさん実施していきたいと思っています！



職員インタビュー

特養 21 番館 介護職員 梅西正人(勤続年数 4 年)



Q 介護職をはじめたきっかけは？

A 前職がトラック運転手だったので、次に転職する時は人と接する仕事がしたいと思っていました。たまたま、介護の初任者研修の広告をみて仕事をしながら資格がとれることを知り、チャレンジしてみようと思ってこの世界（介護）に飛びこみました。



Q この仕事のやりがいは？

A 一番は、関わっているお年寄りとお話をしたりコミュニケーションをとることで、笑顔で喜んでくださることがこの仕事のやりがいだと感じます。

Q どんな介護職員になりたいですか？

A 自分が働くことで、お年寄りはもちろん同じ介護職員の人達も笑顔になり、頼られる存在になれたらいいなあ…と思っています。



排泄委員会の取り組みについて

4月から新パット導入を排泄委員会で話し合い取り組みました。

外部から業者さんを招き、新しいパットの当て方の指導、水分量や尿量を観察してその方の排泄パターンを知ることをご指導いただきました。また、独自の吸収構造で尿をすばやく吸収し、後戻りなくサラサラな状態で使用でき、12時間使用可能であるため、パット交換を最小限に抑えられることで夜間の安眠とその人らしい生活リズムで過ごせることを学びました。

最初は、「12時間使用して皮膚トラブルは起こさないのか?」「本人は苦痛ではないのか?」と、ユニットからも不安な声が上がりました。そこで尿量測定を始めることにしました。尿量測定をする中で、口腔摂取できる方、ミキサー食の方、経管栄養の方等それぞれ排泄状況は異なり、その日の尿量も定まらず悪戦苦闘の日々が続きました。

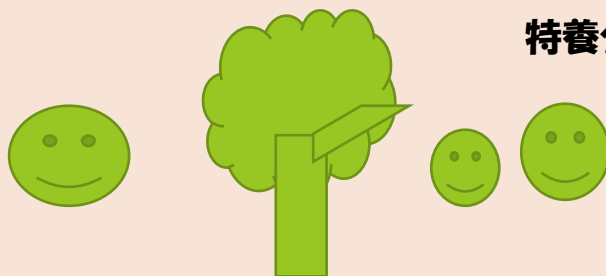
皮膚トラブルに関しては1日1回しっかりと陰部洗浄を行い、軟膏を塗って皮膚を保護することによって改善しました。

また栄養士にも相談し、1日の食事で摂れる水分量に対しお茶やその他の水分量の計算をして排尿パターンを様子観察しながら排泄介助を行いました。パット交換の時間を決めるのではなく、目で見て確認し交換する方がいいと考え、パット交換の時間は目安として時間を定めないパット交換に変更しました。吸収量が良くても12時間以上は使用せず、その人の尿量に合ったパットに変更して体位交換時にパットの確認を徹底しました。

そうする事によって決まった時間に必ず排尿がある方、時間は定まらないが夕方と朝方に尿量が多い方が分かるようになり、職員も排泄ケアに興味を持ち積極的に陰部洗浄を行ったり、皮膚トラブルがあった時は職員同士話し合いをしてより良いケアが出来る様になりました。パットの確認する事も最小限となり、パット交換も1日平均2~3回になり職員の業務軽減にも繋がりました。その分、日中に入居者様と関わる時間も増えてきました。

また睡眠時間の確保にも繋がり、入居者様の表情が穏やかになったと思います。

特養介護職員 藤井 恵



ノーリフティングケアの実践に向けて



特養22番館 介護職員

ユニットリーダー 網 実千代



昨年の11月14日から今年の2月17日まで4回に分けて香川県社会福祉協議会主催の施設ケアを変えるための課題解決セミナー～ノーリフティングケアの実践に向けて～という研修に参加させていただきました。

ノーリフティングケアとは介護する側、される側双方において安全で安心な、持ち上げない、抱え上げない、引きずらないケアであり、働き方を変えて職員と入居者様双方にとって安全なケア現場にするための手法です。

職員にとっては身体の間違った使い方を無くし、入居者様の状態に合わせて福祉機器や用具を有効に活用し取り組むことで無理な姿勢や力の使い方が改善され、腰痛を予防することができます。そうすることによって、入居者様も苦痛なく自然な流れで移乗できます。



また、生活場面に応じた適切な姿勢管理や現状のケアの課題分析、改善方法についていろいろなことを学びました。『今従事している職員の身を守る。身体的理由で離職しないように職員の誰もが安心して安全に働ける職場を作る』ことが目標です。

このたび法寿苑として腰痛予防対策委員会を立ち上げました。まず身体の使い方を研修に参加した2名が教育担当となり、各ユニットリーダーに動画を見ながら実際に体験してもらいました。体験したことを現場に持ち帰り実際に行って「楽に行えた。」という声も聞かれています。現状としては、これから職員全員に浸透させていかなければならないという課題やまだ十分でない部分も多々ありますが、施設全体で課題に取り組み、「法寿苑は入居者にとっても職員にとってもいい介護をしている。」と思っただけのよう職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。



老人介護支援センター

新年度となり法寿苑老人介護支援センターも心機一転、ご利用者様や地域の皆様のお力を借りながらますます成長出来る様、より一層努力して参ります。今後とも宜しくお願い致します。

法寿苑老人介護支援センターでは、高松市からの委託を受けて「高齢者支援推進事業」を年 4 回程度実施しています。在宅で生活されている満 65 歳以上の方を対象に、各種相談や介護予防・健康増進を目的とした情報提供を行うほか、高齢者を在宅介護しているご家族に向けたリフレッシュの機会を提供するために、さまざまな講座やイベントを企画・運営しています。

令和 2 年度の高齢者支援推進事業活動予定

・住宅改修工事についての

勉強会



・尿もれについての

勉強会



・介護者の集い



・終活～看取りについての

勉強会



令和 2 年度もご利用者様やご家族様、地域の皆様楽しく学んで

いただける様に、いろいろな勉強会やイベントを企画して参ります。

開催時期が近づきましたら随時ご案内を致しますので、是非ご参加

ください。

ご存じですか!?

弘善会では、ホームページで各施設の楽しい行事や
情報をみなさんにお知らせしています。法寿苑でも
ご入居者様やご利用者様の楽しそうな様子を随時
更新して掲載しておりますので、是非ご覧ください!!



ここからアクセス
してくださいね!!



◀公式ホームページ

<https://www.kouzenkai.jp/>

「寄付・慰問」

あたたかい御厚情のお礼申し上げます

〔令和二年一月〜令和二年三月〕

順不同

《寄付物品》

諸岡弥生様、完土剛様、佐々木キクエ様、平木良子様、仲野和弘様、三谷政範様、卯目朱美様、中村寛様、佐々木哲夫様、寒川敏様、宮崎廣・富子様、松本シゲ様、多田照夫様、平尾満知子様、卯目正幸様、野上美幸様、井口正一様、石田八千代様、東山恵子様、山内ツマコ様、(株)アイアンドビー 尾藤正樹様、溝渕民子様、吉田アイ様、多田ミネコ様

《寄付金》

綿谷ヤス子様

《慰問・ボランティア》

水無月会様、メガネのミエールS&T様、NPO法人月秀様、NPO法人教育倫理プラザ様、津田和美様、有馬照顕様

個人情報保護の為、名称の公表を差し控えたい方がおられましたら、お申し出下さい。



4月1日現在 特養の現状

	男性	女性	全体
入居者数(人)	9	41	50
平均介護度	3.60	4.03	3.97
平均年齢(歳)	83.74	88.31	87.59
最高齢(歳)	92	102	
最低齢(歳)	68	76	

入居中の医療に関する内容	利用者との人間関係に関する内容	施設の対応に関する内容	職員の対応に関する内容	介護方法に関する内容
0件	0件	0件	0件	0件

苦情受付状況

令和二年一月〜令和二年三月



特別養護老人ホーム 法寿苑

〒760-0080 高松市木太町 3308 番地

(代表) TEL: 087-832-5500

FAX: 087-832-5530

法寿苑デイサービスセンター

TEL: 087-832-5680

法寿苑老人介護支援センター

TEL: 087-832-5400

弘善会ヘルパーステーション

TEL: 087-832-5768

ホームページ <https://www.kouzenkai.jp>

(弘善会ホームページよりお入りください)

E-mail: houjyuen@kouzenkai.jp